



「助け合いの心」ひとつに おおつち子ども食堂に食料品を寄贈



食料品を受け取り、喜ぶ子どもたち

J Aは7月4日、大槌町の「おおつち子ども食堂」にエコープマーク品やJ A商品、調味料、菓子などの食料品を寄贈しました。

この活動は、国際協同組合デーに合わせてJ Aいわてグループが実施した統一活動の一環。6月中旬から大槌支店や母ちゃんハウスだあすこ沿岸店で職員や利用者から食料品を募ったほか、鶴住居支店や釜石支店、本店の職員からも募集しました。

同食堂を運営するおおつち子ども食堂有志の会の東梅麻奈美代表は「折り紙も贈っていただき、子どもたちを思い準備したことを感じた。食料品は大切に使いたい」と感謝しました。

パーティーで交流深める 花巻商工会議所青年部と共にイベント開催

花巻商工会議所青年部とJ Aは7月21日、花巻市内の温泉で「プレミアムパーティー2019」を開きました。

J Aの婚活登録者や組合員、同市に在住・勤務している20代〜40代の男女42人が参加。自己紹介や花巻に関するクイズなどを通して打ち解けたあと、5グループに分かれてトークで和気あいあいと交流を深めたほか、ランチを一緒に楽しみました。フリータイムもあり、参加者たちはさらに距離を縮めました。

参加者からは「たくさんの方と話すことができ、楽しい時間を過ごせた」「スタッフのフォローがあり助かった」という声が聞かれました。



フリータイムで、自己紹介をしつつ交流を深める参加者たち

おいしいブルーベリーに夢中 大迫町山口集落「ブルーベリー収穫祭」

花巻市大迫町の山口集落は7月12日、花巻市立亀ヶ森保育園の園児を招き、ブルーベリーのは場で収穫祭を開きました。

3〜5歳児9人が参加。雨のなか園児たちは、「この実はまだだよ」と声をかけあいながら、背丈ほどの木から食べごろの実を探して収穫しました。収穫後には笑顔を見せて実を頬張り、「甘い」「おいしい」とブルーベリーを味わいました。また、雨の影響で長い時間収穫体験を行えなかったため、事前に集落の住民や花巻市大迫総合支所の清水正浩支所長たちが摘み取りを行い、園児にプレゼントしました。

この収穫祭は10年以上続けられている企画。集落の高畑政博代表は「ブルーベリー収穫祭が恒例化している。園児のためにも、自然と触れ合うこの活動を継続していきたい」と話しました。



雨の中ブルーベリーを収穫する園児

警察署長感謝状を受賞 北上統括部と大槌支店



感謝状を受け取る北上統括部の小原保信部長（北上）



感謝状を受け取る東部地区営農センターの佐藤竹彦センター長（大槌）

北上統括部は7月1日、北上警察署の奥野淳署長から、大槌支店は17日、釜石警察署の仲谷千春署長から警察署長感謝状を受け取りました。

北上統括部は10年以上前から、毎年6月に反射材ストラップを北上警察署地域交通安全活動推進委員連絡協議会に贈呈。今年度は反射材ストラップと反射材シール合わせて1500個を贈呈し、今後も贈呈する予定です。

大槌支店は10年以上前から、年に4回ほど交通安全立哨活動を実施。のぼり旗などを持ちドライバーに安全運転への注意喚起を促しています。地域の交通事故低減を目指し、今後も継続する予定です。

組合員とのふれあい大切に 組合員のつどい「コロケふれあい歌謡ショー」

J Aは7月4日、北上市文化交流センターさくらホールで組合員のつどい「コロケふれあい歌謡ショー」を開きました。

昼と夜の2回公演を行い、昼の部1161人、夜の部1044人と多くのお客様が来場しました。

コロケさんのものまねレパートリーは300種類以上あり、その中から今回は代表的な「美川憲一」や「五木ロケット」のほか、早着替えのものまねショーやダンスパフォーマンスなど全25曲を披露しました。ショーの途中には、歌いながら客席に降りて、来場者と握手をしてまわるなど、来場者を魅了しました。



さまざまなものまねを披露したコロケさん

ゲートボール大会で健康増進と交流を 年金受給者友の会



花巻地域の大会で優勝した谷内チーム

J Aは6月と7月、各地域の年金受給者友の会のゲートボール大会を開きました。

7月2日には、北上市和賀町の多目的催事場で花巻地域の大会を開催。16チーム、118人が参加し、各チームが手に汗握る熱戦を繰り広げました。優勝は谷内チーム（東和町）、準優勝には好地チーム（石鳥谷）が輝きました。

上位の花巻地域2チームと北上地域の二子Aチーム（二子）、西和賀地域の槻沢チーム（湯田）、遠野地域の釜石はまゆりチーム（釜石）と土淵チーム（遠野）の計6チームは、9月に開かれる「J Aバンク岩手第34回ゲートボール大会」に出場します。